

<別紙①>

具体的事例分類項目（検討用）

【項目①】 周辺施設あるいは団体との連携に関する具体的事例

1. 限られた地域資源の最大限の活用例
2. 周辺医療・介護施設の縮小撤退への対応例（負担増への対応例）
3. 多施設連携例、病診・病病連携充実例
4. 広域的連携例、土地勘が少ないところとの広域連携例
5. 医科歯科連携例
6. 行政との連携例、行政との意思疎通や理解向上の取り組み例、首長交代時の方針変更対応例
7. 住民との連携例
8. 連携強化における ICT 利用例
9. 自施設が果たすハブ機能例
10. へき地診療所支援例
11. 他施設の持つ課題が地域の医療全体に影響したことへの対応例

【項目②】 地域とのかかわり構築のための具体的事例

1. 地域社会の課題抽出・検討・取り組み例
2. 住民とともに行うまちづくり例
3. 地域住民の自助・互助能力向上への取り組み例
4. 交流拠点としての役割を担う例
5. 地域そのもののしまい方に向けた取り組み例
6. 住民の専門医志向への対応例
7. 住民の総合診療や地域包括ケアへの関心や理解不足に対する対応例
8. 高齢者対策と少子化対策との対応バランス例（少子化に重点が置かれると高齢者対策費用の軽減が生じる可能性に対する対応例）

【項目③】 人材確保・育成に関する具体的事例

1. 人材確保例
 - 1-1. 人材確保に関する大学との連携事例
 - 1-2. 人材確保に関する周辺医療機関との連携事例
 - 1-3. 大学や自治医大派遣に依存しない医師確保例
 - 1-4. 総合病院での臓器専門科医師確保例
 - 1-5. 専攻医確保例

- 1-6. 医師の定着化例（長期赴任増加例）
- 1-7. 医師の地域内居住増加例
- 1-8. スタッフ定数制限や賃金規程変更困難への対応例
2. 自院に限らず地域内の関係職種確保例
3. 自院独自プログラムへの登録者増加例
4. スタッフ高齢化（特に医師高齢化）への対応例
5. 人材育成例
6. メディカルスタッフ派遣例
7. 医学教育参画例
8. 地域医療マインド醸成例、スタッフの地域包括ケア理解のための取り組み例、国保直診施設のメリット感醸成例
9. スタッフのキャリア形成支援例
10. 資格や能力のあるスタッフへのインセンティブ付与例
11. プロフェッショナルな事務員育成あるいは確保例
12. マネジメント可能な人材の育成・確保例
13. スタッフのパターン化マンネリ化からの脱却例

【項目④】施設運営に関する具体的事例

1. 多職種のかかわり事例、終末期・看取り時など
2. 総合診療取り組み例
3. 在宅療養支援例、移動時間が長く非効率であることへの対応例、診療報酬上の機能効果加算の要件クリア例
4. マルチモビディティへの取り組み例
5. 地域リハビリテーション取り組み例
6. 救急体制維持例
7. 接遇改善例
8. 医療 DX 導入による業務効率化例
 - 8-1. DX 導入例
 - 8-2. DX 導入・維持費用への対応例
9. 情報発信における ICT 利用例
10. スタッフが生き生きと働くための取り組み例
 - 10-1. スタッフの疲弊への対応例
 - 10-2. スタッフのことなかれ主義蔓延への対応例
11. 小規模多機能病院例
12. 施設形態を変えながら地域包括医療・ケアの取り組み例
 - 12-1. 取り組み手順明確化例

- 12-2. 整理・縮小・機能選択例（そのタイミングも含めて）
- 12-3. 地域医療構想 4 区分への適切対応例（診療報酬上の不利益への不安解消例）
- 12-4. 周囲の代替医療機関がない中での整理・縮小例
- 13. 財政的課題の中での施設設備更新や診療機器購入・更新例
- 14. 院内新規事業に関する院内スペース確保への対応例
- 15. 働き方改革への対応例（小スタッフでの宿日直・休憩への対応例）

【項目⑤】経営に関する具体的事例

- 1. 経営効率化例
- 2. 患者減への対応例、病床稼働率低下への対応例
- 3. 医業収支悪化への対応例
- 4. 人件費率上昇への対応例
- 5. 住民サービスと報酬とのバランス対応例（住民サービスが報酬に直結しない場合の対応例）